

あけまして
おめでとう
ございます



Yamamoto Acc office

山本総合会計

山本総合会計ニュース

編集 発行人
税 理 士

山本 孝久

〒152-0003

東京都目黒区碑文谷5-12-1

TS碑文谷ビル2F

TEL 03 (3791) 8863

FAX 03 (3791) 8292

1月

(睦月) JANUARY

1日・元日 2日・振替休日 9日・成人の日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31

ワンポイント 宿泊税

ホテルや旅館の宿泊者に課税する法定外目的税。大阪府ではこの1月から1人1泊の宿泊料金に対して、1万円以上1万5千円未満100円、1万5千円以上2万円未満200円、2万円以上300円の税率の宿泊税を導入します。1万円未満は免税。東京都はすでに平成14年10月に税率2段階の宿泊税を導入しています。

1月の税務と労務

- 国 税 / 給与所得者の扶養控除等申告書の提出
本年最初の給与支払日の前日
- 国 税 / 報酬、料金、地代、家賃等の支払調書の提出
1月31日
- 国 税 / 源泉徴収票の交付、提出
1月31日
- 国 税 / 12月分源泉所得税の納付
1月10日
(納期の特例を受けている事業所の7~12月分は1月20日)
- 国 税 / 11月決算法人の確定申告
(法人税・消費税等)
1月31日
- 国 税 / 5月決算法人の中間申告
1月31日
- 国 税 / 2月、5月、8月決算法人の消費税の中間申告
(年3回の場合)
1月31日
- 地方税 / 固定資産税の償却資産に関する申告
1月31日
- 地方税 / 給与支払報告書の提出
1月31日
- 労 務 / 労働保険料の納付(第3期分)
1月31日
(労働保険事務組合委託の場合2月14日まで)



資金繰りの見直し

景気の動向が不透明な中、会社の資金繰りに頭を悩ませている経営者の方もいらっしゃるのではないでしょうか。

「利益が出ているのにお金が足りない」。そのようにならないために、資金繰りを見直してみましよう。

① 資金繰りの見直し

資金繰りの見直しは、経営改善の余地がないかどうかを探すことから始まります。

金融機関からの借入れに頼らざるを得ない場合もあります。まずは資金繰りを悪化させている要因を探し出し、日々の工夫や交渉により改善していきます。

① 資金繰り表の作成

収入と支出を一覧にして収支の過不足が分かる表を作成します。資金繰り表を作成することによって会社の資金状況を把握することができます。

最低でも三か月前の資金予測を立てるため、毎月必ず資金繰り表を作成し、頭の中で三か月前までのキャッシュの流れのイメージを持った上で経営判断できるようにします。

また、資金繰り表には将来予測の欄のほかに過去の実績の欄を設けると、予測と実績の対比ができます。

毎月必ず結果を検証するクセをつけると、毎月の資金予測が正確なものであったか検証できるのと同時に、資金予測の正確性を高めることが可能になります。

つまり、計画↓結果↓原因分析↓対策↓計画といったサイクルを繰り返すことによって、財務面でのリスクを減らし、安定した経営体制の基盤を作ることができます。

② 資金ショート時期の把握
資金繰り表によって近い将来の資金が回るかどうか、又はいつ資金ショートが起ころうなのかがわかりますので、その対応を考えます。

③ 資金繰りの工夫

日々のちょっとした工夫で資金繰りを楽にすることができます。

- ・手形の金額は小額に分けて振り出してもらおう
- ↓状況に応じて現金化できませす

- ・取引先への支払期日を延ばす
- ↓資金の余裕ができます

- ・売掛金の回収を早める
- ↓資金の余裕ができます

- ・棚卸しを定期的に行い在庫状況を把握する
- ↓無駄な仕入が減り回転率が上がります

- ・固定費を見直す（家賃の値下げ・リース物件の再リース）
- ↓固定費が下がります

また、売掛金の管理を徹底する、無理な設備投資はしない、「現金の収支」と「事業の損益」を別に考えることなども重要となります。

2 緊急時の対処法 （リスケジュール）

資金繰りが悪化してきたときは、通常の処理をしていては資金ショートが発生してしまいます。そのときは、事業を継続するのに支障が出ないように、支払いの優先順位を決めた緊急の資金繰りを検討します。

手形支払の決済、取引先への支払い、従業員への給与の支払いなどを優先的に行い、金融機関への返済については、支払い延長のためのリスケジュール（債務返済の繰り延べ）を検討します。

資金繰りがどうしても厳しい状況に陥った場合、リスケジュールを行い、年間の返済額と借入返済能力とのバランスをとることも一つの方法です。

無理して支払わずに思い切って支払いを止めてしまうという方法です。

金融機関には、毎月の元金返済を半年程度猶予してもらおうように調整を依頼します。これは、緊急時の支払いの優先順位を考慮したやむを得ない行為といえ

ます。

支払猶予を獲得すれば、新規に資金調達した場合と同じような効果がありますので、資金に余裕ができ、経営はかなり改善します。心理的重圧も減りますので、考えも前向きになります。この間に、どうしたら売り上げがアップするのか、不採算部門をどのように処理するのかといった、利益に結びつく経営改善を考えることができます。

リスケジュールの交渉は、次のような手続で進めていきます。「融資先が今後も支払いを続ける意志があり、融資した金額を回収できる可能性がある」と金融機関が判断すれば、リスケジュールに承諾してくれます。

そのためには、返済可能なプランを作成する必要があります。また、リスケジュールを承諾してもらえるような「前向き」な計画書も必要です。

経費の節減や利益を生み出す体質作りなど、会社の前向きな姿勢を示す経営改善計画書を添付しましょう。

経営が苦しいので返済を猶予してくださいとお願いするだけ

より、改善計画書があったほうが、金融機関も稟議を通しやすくなります。

なお、金融機関から断られても簡単に引き下がらず、粘り強く交渉することが重要です。金融機関からの問い合わせや資料請求には早急に対応しましょう。

（1）必要書類の作成

返済条件変更依頼書・事業計画書（経営改善計画書）・資金繰り表

（2）金融機関とのアポイントメント

メインバンクからスタートし、原則として取引がある全金融機関が対象となります

（3）金融機関との交渉
状況の説明・計画書等の説明

（4）金融機関の審査
二週間程度を想定、金融機関からの融資条件をそのまま飲まない（交渉の余地があります）

（5）開始日の確定
開始後も定期的に達成度の審査があります

3 過剰な節税

業績が黒字で税金を支払うのがもったいないからと経費を無駄遣いしたり、税金を減らすということばかりを考える経営者もいるかと思いますが、逆にそれがお金が足りなくなってしまうことが多々あります。

実施すべき節税方法は、特に無駄遣いをすることなく行えるような方法を自社で採用できないか十分に検討し、それを実行することです。節税の勧めを知人等からアドバイスされても、それが無駄な出費を伴わないか見極めたうえで実行する必要があります。

一千万円の利益を消すのに、本来は経営に活かしてこない無駄な経費を一千万円使えばお金は一千万円無くなります。しかし、無駄な経費を使わなければ税金を支払っても六割〜七割のお金は残ることをお忘れなく。

保険を利用した節税も資金繰りに大きく影響がある場合もありますので、節税の際には資金繰りも十分留意したうえで進める必要があります。

オペラ

オペラをご覧になったことはありますか？

以前は欧米の劇場の来日公演が大半で、チケットも手に入れ難く敷居の高いものでしたが、近頃は日本の劇場や歌劇団主催の公演も増え、私たちにとっても少しずつ身近なものとなってきました。

オペラとは簡単に言えば「物語を歌で進行させるお芝居」ですが、その物語は、神話に出てくる神々に題材を得たものから庶民の暮らしを描いたものまで様々です。日本の感覚で言えば、古事記から世話物まで、といったところでしょうか。

日本を舞台とし、日本の童謡など耳馴染みのある旋律を随所に用いた、ブッチーニ作曲の「蝶々夫人」や、日常のリアリズムを追求し、普遍的な人間の感情を音楽にぶつけたヴェリズモ（真実主義）オペラの傑作、レオンカヴァッロ作曲の「道化師」、マスカーニ作曲の「カヴァレリア・ルステ

ィカーナ」などは、オペラ初心者の方にも比較的抵抗なくご覧いただけることでしょう。

オペラはその歴史の中で、音楽だけでなく舞台装置や衣装・演出等の効果も重要視し、「総合芸術」として発展してきました。

そしてもう一つの大きな要素は、劇場自体の美しさです。

本場ヨーロッパには、世界遺産にもなったドイツのバイロイト辺境伯歌劇場、ミュージカル「オペラ座の怪人」の舞台となったパリ・オペラ座（ガルニエ宮）など、ため息の出るような美しい歌劇場が数多くあります。

日本でも音響の素晴らしい劇場が増えてきました。

日本ならではの豊かな自然を借景とした劇場などもあり、ヨーロッパのそれとはまた違った良さがあります。

心からの感動を味わいに、ぜひ劇場にお出かけ下さい。作品のあらすじを予習していけば、さらに楽しめることでしょう。

～元は女歌舞伎～

男性だけで構成される女人禁制の舞台、歌舞伎。当然、女性の役も男性が演じています。

女性顔負けの美しい女形は見るだけでうっとりしますが、そもそも、なぜ男性だけの舞台芸術が生まれたのでしょうか。

元は、江戸時代の幕開けとちょうど同じ頃、京都は四条の河原で一人の女性が踊り始めたものが評判を呼び、多くの女性たちが真似て「女歌舞伎」となったのですが、これが「風俗を乱す」という事で禁止され、次に未成年男性が引き継いで始めた「若衆（わかしゅ）歌舞伎」も、やはり同じ理由で禁止されてしまいました。

ならばと始まったのが、成人男性が演じる「野郎（やろう）歌舞伎」です。これが大きく発展して、現在では日本の伝統芸能にまでなったのです。

冬に咲く花

寒い日が毎日続くと、暖かい春の訪れが待ち遠しく感じるものです。しかし、そのような寒い季節にも、私たちの目を楽しませてくれる花々が咲いています。白く小さい可憐な水仙や、濃い緑の葉に白やピンクの花が鮮やかな寒椿などは、公園や街中の生垣などでよく見かけられますね。その他にも、庭の木に黄

色い花を咲かせる甘い香りの臘梅（ろうばい）や、八重の花びらが美しい山茶花（さざんか）なども、冬の代表的な花と言えます。凜とした冷たい空気の中で美しく咲くこれらの花々を、今年はいくつ見つけられるでしょう。寒い季節でも、外に出ることが少し楽しくなりませんか？